

市議団ニュース

木村奉憲・22-8567、杉野 修・58-9010

石田利春・52-7260、渡辺昌代・21-9058

9月
議会の
続報

市民の要求を国に！

党議員団、意見書の採択に向けて全力

青く澄み切った秋空に
満開のコスモスです
(鷺宮地域)

男女共同参画を推進する

条例が可決

総務財政市民委員会

この提案理由は、男女が自らの意思によりあらゆる分野に参画できるよう、市、市民及び事業者が協働して、推進するためとして出されたものです。条文は第一条「目的」からはじまり、男女共同参画を推進する「審議会」の設置など24条からなっています。

これら条文中「努める」とする「努力規定」の条文は項も含めると13に及びます。このことから、市、自らが取り組む審議会委員の構成割合については、「10分の4未満であってはならない」義務規定にすべきという修正案が政策会議派から出されました。

修正案に日本共産党は賛成しましたが、飛翔及び公明の反対で否決となりました。条例そのものは全員一致の賛成で可決しました。

審議会の中で、男女共同参画が前進するには、賃金の格差是正など、事業所が果たす役割が大きい。事業所の研修なども実施するよう提起しました。これからも男女の共同参画が進むよう力をつくしていきます。（石田利春議員）

児童虐待を未然に発見・防止する体制強化と

予算の増額を求める意見書

全会一致で可決

内容は、児童虐待防止法改正後も虐待事件発生報道が後を絶たない中、虐待防止は待ったなしの社会的課題であり、どう体的手だてを緊急に講じる必要があること。国が児童をどう守り、子育て支援していくか、その体制作りの強化が課題と指摘しました。

- ① 児童相談所の児童福祉司の倍増をしっかりと行うこと
- ② 満杯状況の「一時保護所」の抜本的拡充をはかること
- ③ 児童福祉施設の居室改善予算や自立援助ホームの補助金の増額を要求しました。

意見書に対しての質疑内容は

- ① 児童虐待が起きる社会的事情の原因は何ととらえるか
- ② 児童虐待の諸外国との比較事例
- ③ 児童虐待を起こした親権者へのケア
- ④ 予防的措置についてどう考えるか

などの質疑が出されました。

提案説明・答弁とも

渡辺昌代議員

UR賃貸住宅の公共住宅としての継続と居住者の居住の安心策の確立を求める意見書 杉野 修議員

現URの団地は高度成長期の「あこがれの公団の団地」として首都圏労働者のベッドタウンの役割を果たしました。しかし、小泉政権下で規制緩和の名の下で「独立行政法人」化され、菅政権下では民営化の道を走ろうとしています。出された質疑では

- ① 団地の耐震化は大丈夫か
- ② エレベーターの設備がないが
- ③ 公団自治会協議会の方針との関係は、などでした。

答弁では、市内の団地全体で4棟は耐震化補強が必要なこと

- ・県内でもエレベーター設置が始まっていること
- ・「建て替え」の際には、希望者が負担なく戻り入居できるようにUR、国、県、市が力を合わせていくこと

を述べました。採決では、「共産党」「政策会議」「公明党」ひとり会派の田村議員の賛成で採択され、久喜市議会として国に意見書を送付することになりました。（17対16）

一部事務組合議会のご報告です

久喜・宮代衛生組合議会

ごみ行政

合併に伴うごみ処理基本計画やリサイクル向上について

～久喜・宮代衛生組合 9月議会～

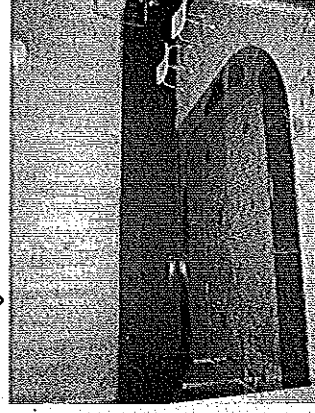
木村奉憲議員

久喜・宮代衛生組合議会では、久喜地域の一市三町の合併に伴うごみ処理計画やリサイクル率の向上に向けた今後のあり方が論議されています。

衛生組合の9月議会では、久喜組合議員として、次の一般質問を行いました。

1. 一市三町合併によるごみ収集の統一について、どのように3町に反映されているのか。3年以内の統一に向けた具体化はとの問いに、久喜・宮代衛生組合の方針を基本に進めていくが、まずルールの統一が必要で、内部でプロジェクトを作り開始している。可能なものから統一し、住民説明会で説明し、意見交換を図っていく。
2. 生ゴミ処理計画の今後の見通しはとの問いに、現在進めている微生物を利用したHDM方式で生ゴミ減量化及び堆肥化を図る。今後市民や今実施しているモデル地域での声を聞きながらすすめていく。
3. リサイクル率の向上に向けての今後の計画はとの問いに、久喜・宮代衛生組合のリサイクル率は40.3%、菖蒲清掃センターは17.2%、八甫清掃センター(栗橋・鷲宮)は24.6%。平均で32.5%となり、久喜・宮代衛生の14年前に戻り、数年での40%は困難だが向上のため努力する。

福祉健康常任委員会で所管事務調査を行い菖蒲老人福祉センターと彩嘉園、偕楽荘の視察をしました。
・渡辺昌代・



すてきな風呂

とくに老人福祉センターは改修リニューアルしたばかりで、たいへんきれいな施設でした。でも利用者が減っているとはなし。利用率を上げる研究が必要。みなさんぜひどうぞ

久喜地区消防組合議会

消防行政

③ 「消防査察」で違反の件数は238件でした。そのほか、各事業所や福祉施設などでの防災避難訓練への援助体制には、支援策をもとめました。

- ② 救急車が病院に患者を搬送したが受け入れられなかった件数は72件に及びました。その理由は、
・ 処置困難だった
・ 専門医が不在だった
・ ベッドが満床だった
・ 手術の人数が確保できなかった。 などです。

- ① 消防、救急で「現地までの到着時間」は平均で、「5分56秒」でした。

21年度の消防行政での審議で明らかになったことは、

・ 質疑・

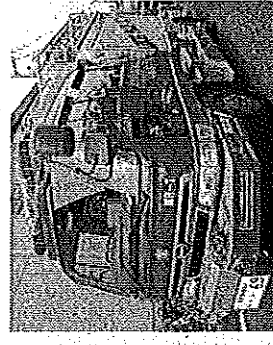
消防力を落とすな！

・ 一般質問・ 杉野 修議員
「消防の広域化について」

いま国、県の主導で行われている「広域化」では、久喜市、加須市、蓮田市、幸手市、羽生市、宮代町、白岡町、杉戸町の5市3町の消防組合を「ひとつ」にする案で進んでいます。問題は、

- ① 消防力の「基準」が30万人を超えると緩和され、例えば、消防自動車がいま39台あるところ、28台でも基準を満たすことになる点です。

・ 現場の職員の意見を聞くこと
・ 市民にも計画を知らせること
・ 広域化しても車両や人員をいままより絶対に減らさないこと
などを強く求めました。



「さあ、出動！」消防自動車